



座に座っているよ
今と違うのね

勉強内容は読み、書き、そろばんを教える
寺子屋式の学校なんだよ

※寺子屋…江戸時代、庶民の子供を集めて読み、書き、そろばんを教えたところ。

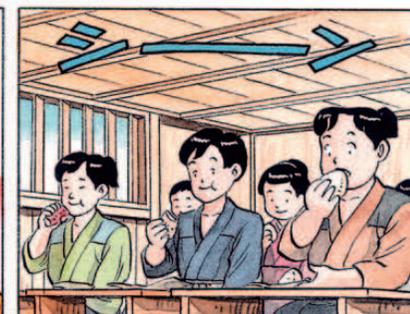
士族の子供だけに礼儀に徹したいだね
「五カ条のきまり」という校則があったんだ

生徒が十八人に
対し、先生が二人という
ミニ学校だよ

ぼんやりしてると覚えられないね
大変そう

先生の話をしっかり聞いているね
昔は今のよう
一人一人に教科書はなかったんだ

お昼なのにみんな静かだね
このころは食事中に話をしている
いけないかったんだよ
なんだか窮屈なきまりね！



※五カ条のきまり…「あいさつなどの礼儀を守りなさい。教室でのけんかはいけません。勉強道具を整理整頓しなさい」など五つの学校生活のきまりが定められ、これを破る者には必ず罰を与えられていた。

古い歴史がある学校だと聞いたわ
うん
じゃあ次は開校当時の小学校へ行ってみよう

そう言えば君たちは白石小学校に通っているんだよね
はい
そうです！



変な葉屋さんみたいな名前だ
それでいつ開校したの？

最初は「善俗堂」という名前だったんだ

※入植…開墾する土地に入って生活すること。



あれが「善俗堂」だよ
うわあ小さな学校！！

明治五年四月のこと
札幌で二番目の小学校だった
じゃあ白石に入植した次の年に学校を造ったの

※戸長…現在の村長にあたる役職。



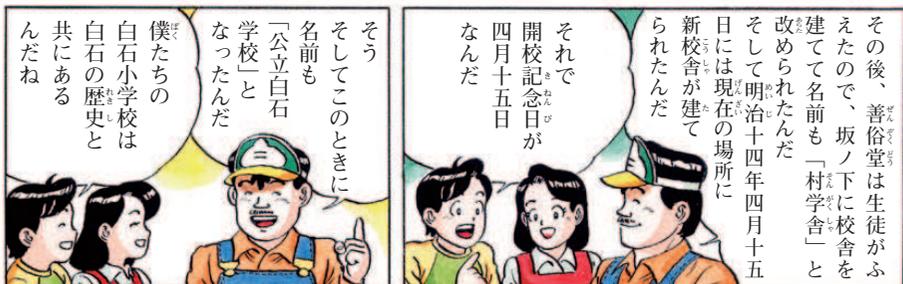
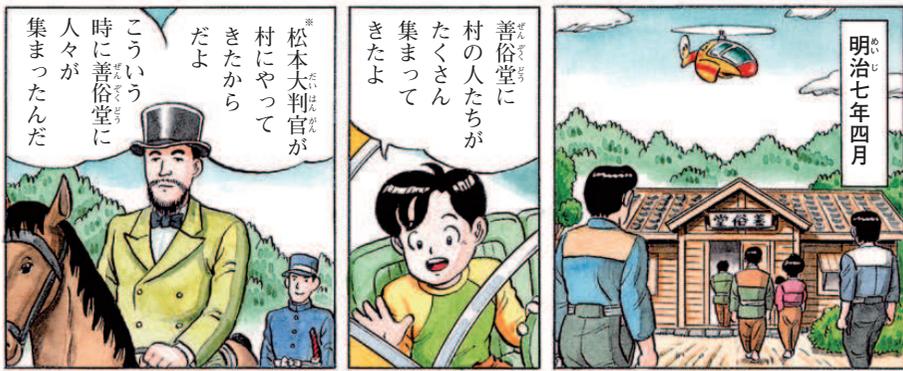
白石村の戸長佐藤孝郷をはじめ村の人たちが将来を担う子供たちの教育に熱心だったことが分かるね

※善俗堂…良い生活上のノウハウや行いなどを身につけるところという意味。

降りて昔の授業風景を見てみようか
うん
見てみたい

現在の白石小学校の向い側に造られたそうだ
そう
なん

※札幌の教育の始まり…札幌で建てられた最初の小学校は明治4（1871）年10月に開校した資生館で、二番目が善俗堂。



※兵農一理の書…松本大判官が中国の詩を書き写し、その下に船越長善が絵を描いた巻物。詩の内容は「昔の兵士はみんな農家だった。農家が富めば軍隊は強くなる。武士と百姓は一体であり、共に国の栄えとなるもの。」という意味。



※松本大判官（松本十郎）…天保10（1839）年8月、現在の山形県に生まれた。明治2（1869）年に開拓判官になり、明治6（1873）年1月に開拓大判官になる。